



Title	研究会報・編集後記
Citation	独語独文学研究年報 = Nenpo. Jahresbericht des Germanistischen Seminars der Hokkaido Universität, 44: 268-271
Issue Date	2018-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/70525
Type	bulletin (other)
File Information	44_15_kenyukaihou.pdf



[Instructions for use](#)

研究会報

講義題目 (2017年度)

[学部]

ドイツ語学概論	ドイツ語の構造とその背景 17	清水 誠
ドイツ語学演習 I	ドイツ語学文献読解 I : 17	清水 誠
ドイツ語学演習 II	ドイツ語学文献読解 II : 17	清水 誠
ドイツ文学史概説	ドイツ文学史	山田 貞三
ドイツ文学	ドイツ文学入門 17-1	山田 貞三
ドイツ文学演習 I	ドイツ文学講読 17	山田 貞三
ドイツ文学演習 II	ドイツ文学研究 17-1	山田 貞三
ドイツ文学演習 II	ドイツ文学研究 17-2	山田 貞三
外国語講読	ドイツ語を読み慣れる 17	藤本 純子
ドイツ語学	Praktische Phonologie des Deutschen – Lernen mit Musik I	Matthias Grünewald
ドイツ語学	Praktische Phonologie des Deutschen – Lernen mit Musik II	Matthias Grünewald
ドイツ語学演習 I	Kommunikation, Sprachstruktur, Wortschatz I	Matthias Grünewald
ドイツ語学演習 I	Kommunikation, Sprachstruktur, Wortschatz II	Matthias Grünewald
ドイツ文学演習 I	Deutsche Kriminalliteratur I	Matthias Grünewald
ドイツ文学演習 I	Deutsche Kriminalliteratur II	Matthias Grünewald
ドイツ文学演習 II	Literarische Textarten I	Matthias Grünewald
ドイツ文学演習 II	Literarische Textarten II	Matthias Grünewald

[大学院]

ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ゲルマン語学の諸問題 17	清水 誠
ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ドイツ語学の諸問題 17	清水 誠
言語分析論特別演習	歴史比較言語学研究 17	清水 誠
修士論文・特定課題指導特殊演習		清水 誠
博士論文指導特殊演習		清水 誠
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft 17-1	山田 貞三
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft 17-2	山田 貞三
修士論文・特定課題指導特殊演習		山田 貞三
博士論文指導特殊演習		山田 貞三
ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ドイツ語を読みこなす 17	藤本 純子
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	500 Jahre Reformation – Gründe, Verlauf, Wirkung I	Matthias Grünewald
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	500 Jahre Reformation – Gründe, Verlauf, Wirkung II	Matthias Grünewald

研究会行事記録

1. 2017年2月15日、北海道大学文学部 W309 号室（新棟3階）において2016年度卒業論文発表会が行われた。
2. 2017年7月7日、北海道大学ドイツ語学・文学研究会総会において幹事選出等が行われた。

2016年度 独語独文関係の論文題目

修士論文

- 覚 知 頌 春： 低地ドイツ語における「不定詞+doon」迂言形
—西ゲルマン諸語の迂言形と比較して—
- 前 田 駿 輔： ゲルマン諸語における結果構文

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
 - 1) 機関誌「独語独文学研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会会員は北海道大学大学院文学研究科、独語独文学関係の教官、院生ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。
5. 本会会員は上の活動の遂行のため、年会費5千円（一般会員）もしくは2千円（学生会員）を払う。
6. 本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。
7. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。
8. 本会の事務局は北海道大学大学院文学研究科におく。
9. 本会に賛助会員をおく。

論文執筆要項

1. 論文審査
 - 1) 本誌は論文の掲載に関して審査を行う。
 - 2) 論文の採否は審査委員が決定する。その際、原稿への加筆、修正などを求めることがある。採否の結果は、編集委員会が投稿者に通知する。
 - 3) 審査委員は、編集委員会から委嘱を受けた本会所属の教員数名がその任にあたる。
2. 原稿執筆規定

執筆申し込み : 執筆希望者は、各年度の6月末までに、その旨を編集委員会に申請すること。

ページ数 : 20ページ程度。1ページの文字数・行数は任意。ただし35～37行程度が望ましい。

原稿の大きさ : A4。

論文題目 : 原稿1ページ目の最上段中央に、太字またはゴシックで多少大きめに記載する。2行にわたっても構わない。
また、提出の際にドイツ語または他の欧文による題目を記載すること。

注釈・文献 : 注釈は脚注または奥付けとする。注釈番号はアラビア数字で右括弧付き。

執筆者氏名 : 原稿1ページ目の3行目（題目との間に1行あけること）、太字またはゴシックで右端に記載する。

身分の明記 : 原稿末に丸括弧つきで、右寄りで所属機関・職名を明記する。

締め切り : 10月31日。

会 員 名 簿

※青柳謙二	阿部和夫	石原次郎	岩井洋
岩田聡	※植木迪子	梅津真	岡田江里
○奥山洋香	覚知頌春	※川島淳夫	岸川良蔵
北原寛子	熊坂亮	佐藤修子	佐藤俊一
○山藤顕	塩谷幸子	清水誠	杉浦康則
鈴木将史	高橋修	高橋希衣	田中剛
対馬晃	寺田龍男	戸松豊	中村寿
中祢勝美	名執純子	名執基樹	西川智之
西出佳代	野尻知子	藤本純子	○本多竜二
前原真吾	森田一平	◎山田貞三	山田善久

◎は会長

○は幹事

※は名誉賛助会員

編集後記

レフェリー制を導入して17年目となりました。掲載論文は厳正な審査を受けた論文です。ご多忙中、快くレフェリーを引き受けてくださった方には、この場を借りて深く感謝申し上げます。

編集委員一同